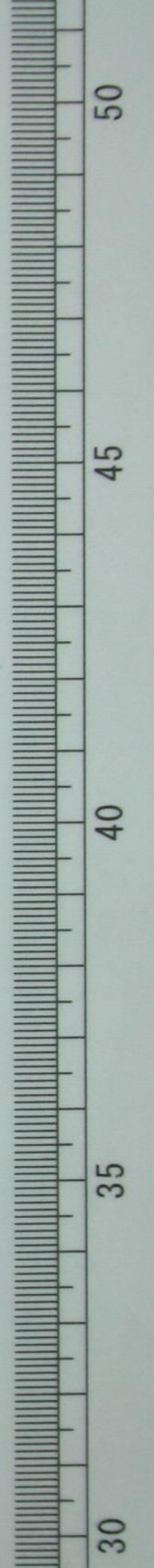


小精廬日誌

昭和六年十月
二十五日以後
七年續

特別
14
1919
612



176877

小栢廬日誌

昭和六年十月十五日以降

十月

十五日

快晴朝来旅宿をきり、武田尾吉木林脚美
 樹村山麓の紅葉山車三本橋、坂上弘花
 夕注射をとり、午後文の協会の例会
 あり、も不答の故と次つて臨まざり、在座教
 員あり、並木光太郎、水原二重、及流し、未
 蘭、六加、又、清色、玄茶、と、西島、列、了、早

大と野珠歌の切符利来、所得税徴符利
連、詠中連のの眩眈不足を補はん為一の
早く寝ぬ

十一百

時、和田純、函達云、榮二吉、芝流、宇属の
中田邦生、杉本素一、其のあり、印、二、簡
寸、春城、漫活、四冊、函、云、榮、元、書、一
在、行、物、漫、人、並、木、元、女、ら、漫、活、を、郵、送、す、
北、城、以、報、此、と、春、城、漫、活、二、十、部、追、送、し

藤原製

来、大石、堀、自、来、流、書、の、四、考、刊、行、今、の、編
輯、に、従、り、し、り、久、野、大、り、可、成、流、往、年、館、定
と、信、頼、し、互、き、り、平、田、馬、胤、の、遺、墨、屋、の、
漫、活、を、贈、る、金、澤、に、於、け、る、講、談、を、著、録
す、西、村、大、中、一、夜、井、一、る、森、次、吉、と、未、出、四
時、市、田、割、場、の、左、圖、次、一、存、の、頼、山、陽、を、観
る、大、政、の、小、林、儀、と、印、と、松、屋、を、贈、り、来、る

十七日

大禁日

内、凡、早、朝、全、泥、に、於、け、る、講、談、の、事、を、記、す、也

田中早大総去来仍余の維持員辭任致
一維持員今の感念の決議文を宣明し
て交付あり山田清心今由中京原小久江成
一文り来り、跡之石塚三平、杉本、大吹の姑
婿も、就て話して去る、今尾中、海を来
書り、去り、石塚三平も相と贈る。午
後、杉本と兼す、小森儀三平、お心を為す
城後族の母、益壽を祝す、為ぬ内子も衣
冠を帯送す、午後二時を過ぎぬ。

榎原製

十八日

清、講演筆記を校正し、杉本、中田、吉田、吉田
郵送す、久野大平、森、在り、肥田、有屋、
来書り、其の柱次郎、和田、氏、来り、午後
八時、甲、柳、菊、菊、と寄り、来り、光を付
る、散策、日本橋、と相、将、い、昔、美、と、飯、し、新
宿、の、杉、本、座、の、映、畫、を、見、て、ゆ、く、銀、生、の、集
月、の、時、も、隈、門、合、を、開、く、出、席、し、来、年
大隈、先、任、十、年、忌、追、悼、會、に、つ、き、准、丁、任、事
項、と、関、し、余、も、觀、望、を、為、す、

十九日

陰、午後八時、湖を渡る。其の邊、橋を定めて、台
清水に赴く。其の末、故本漢堂に到り、十時半出版
部に到り、改革案を内渡す。午後九時、四時、館
司の及、林、あ、三、余の放送、就て、其の功、修、
を、筆、七時を移す、大改、吉、田、祥、三、中、と、品
簿録(補編)を定めて来る。

二十日

昨十一月一日放送を為す。(其の其の概要)

陸奥

を筆、録し、局、(是、美)す、廣井、一、身、訪、去
時、訪、可、野、と、塩、津、海、士、を、後、初、め、未
訪、二、宮、夏、況、と、来、出、所、京、學、校、其、他、の、押
高、を、依、頼、し、来、る、午、後、五、時、有、と、お、り、四、時、
お、く、べ、と、と、の、前、に、故、の、石、塔、帯、に、是、の、田、原、松
本、立、一、と、一、身、と、の、名、と、の、名、の、原、利、喜、と、
と、と、来、る、と、二十、日、稿、部、二、身、并、儀、の、と、と、如、列、す、

二十一日

昨、十一月一日、余が放送の梗概を、帝國圖書

銀林集三々舞臺し放逐る、政き一も大隈
敬慕今の若人勸誘状のあり又を稿す
山田清化等、平中登美夫とを扱き余の
任のより其れを内儀す、毛利吉彦等、
すしと返す、平橋四平、新築式成り十一月
後式式の案、由り、行由り、送書問の
否、何次、其に郵送、手塚四平、と来也

二十二日

時、中印禮四り、其時、預金の内三千圓定期

穂原製

預金とるす、八百圓計出す、大隈、
幕會の若人勸誘状印刷に回す、未、
竹久、同、一銅像除幕式を行ふ、
金、多、當日式場、演説を法、
未、平中登美夫来訪、
前、す、不久、江村、
午後、上、
ゆ、塩入太輔の訃を傳ふ

二十三日

晴大政の古田祥と印、湖と名をす。九時増田
 義之と名をす。新印刷重役湖起田法秀英
 余の依久岡衛法六の依久百頁一物像除
 幕式二つき来由、久吹有三百百結結三付
 祝為(二十回切手)と名をす。田中穂積三の
 玉利三しの印と結結指印(十一月十日大隈
 今彼)の印と名をす。和田純、連達郵便
 と名をす。午後御人の囀、座、押、高敷
 紙此内、あるは枝の扁、紙二枚あり。油
 迄玄茶、うい、を、口、指、指、生、教、策、指、を

徳源

媽、其、ゆ、二、壽、の、名、物、列、来、

二十四日

晴、あるの二宮、夏、法、押、重、郵、五、且、二、向、を、投、ま、
 亀山、平、三、の、聖、漢、私、印、代、残、金、計、十、由、拂、油、取、
 田、増、多、り、前、以、故、男、音、以、念、増、物、指、寄、附、金、
 の、件、二、つ、き、来、由、余、の、出、金、三、十、由、交、付、小、田、
 此、方、大、り、し、も、来、書、の、取、上、以、存、し、も、注、射、を、受、
 く、以、取、状、二、も、取、田、増、多、り、の、取、郵、送、し、人、
 西、田、の、印、漢、帳、に、題、し、且、十、顆、の、花、印、を

捺し需に應ず、午後枳野二の葬儀あり先を代
理し孝子、前島故男爵銅像の表裏を心り
母改田増中、郵送、午後葬儀を畢す、
尾根のトタン部全部塗り了る

二十五日

日

昨、新沼の森井忠大ら、簡す、十時校友秋
季大会に臨む、日圓遊会を評し先を併せ日本
橋と二三の事を話して歸す、

二十六日

榎原製

○心、今朝大隈屋と訪ふ、又、協会の将来
このき内瀬可、不事可故、田増と印す、流民の
尾末、久江、中一、身流、言、木十、取、十一、月、一、日、外
遊、出、也、このき、来、出、士、田、友、人、に、簡、す、午、後、廣
井、一、少、久、江、中、一、森、野、美、村、未、訪、高、島、流、民
の、来、出、聞、を、得、て、来、月、六、日、休、久、間、と、一、相
像、除、幕、式、に、流、民、す、このき、稿、を、心、す、

二十七日

昨、早大芸生の印刷研究会の雑誌に印

訓道樂の一文と年一十二寄す、故田誠其稿
重抄他中田部道と未向、吉田秀人其稿
出の部改年難波記一の中創題が本を内儀
す、荒木十畝以の暹羅に赴くにつき、銭を
る田部、十畝も紙本の書と始す。骨
董高、あき飛二す、六二二號一婚入、ち
柳馬垣と、近若支那を東青連史を
案の七、年、孫井忠と、し来、京都恩賜
埴物、踏と山陽邊、吾辰日、ぬを字の也
未、今夜刊行、今時代、関係者、久野、をり

榎原製

埴田璋、左右山田清心と、出の部、其稿、
今、七、嘉、と流す、十畝、悔、志、り、尾、三、四
す、複、知、也、今、本、二、冊、配、本

二十八日

晴、九時、初、改、方、の、書、出、の、部、其、稿、部、合
を、ひ、き、清、原、の、不、況、對、し、檢、査、の、印、紙、
あ、お、も、備、減、決、定、す、難、波、記、一、中、を、松、葉
を、字、の、也、あ、出、中、早、大、出、の、部、其、稿、今、の、
不、定、其、昨、日、本、工、部、改、協、會、の、定、田、三、中、

或乃石川島三回古蹟を謝地と相公鉢
寺別所来、和回島を海に別く、高木来喜
の記に接す、文の巻に、因方と過る、若崎港國
の自業稿本、潜書稿秘録二冊(六十四)を得
と懐く、原稿と早大印刷研究今の雜稿に寄
す、

二十九日

昨日日本石油公社配由四上日野叔武田宅を
小久江第一町訪、高松倉立勸松有満字音

榎原製

夫を新島の如く記す、屋敷に石の樹
木一二を他へ移す、雜稿を兼す、二宮若
流しと来簡、信長良一印山崎并鴨屋の
小點を抄録、巻面を清く即ちわしと云
す、揮毫物二名、若流し、小包を兼す、
高木来喜死去の事、悔杖をぬす、

三十日

昨日是洋更林、是の枕頭、旣中、小井為
爪の少説を讀み終り、天の如く、田中光顯伯

より往年早大田より送る寄附の皇統の義統
并に玉命今回園遊に携在してらんりつとき
右載先考二回と田中伯とあり、小井堅三
城伝等とつとき、石井伝二中執職とつとき、東坊、宇
尾望、湯村、湯村を贈り、原久一印とつとき
トイの人生の道(上巻)を寄る、宮田三印
紙の陳列とつとき、未稿、桂木を寄り、つとき
二未の、赤、白、油、律、以、未の、用、盡、書、東、東
打の上大アムハム三冊に張り終り、約二百有
也、唐、潮、の、吸、と、小、倉、カ、大、清、列、未、休、久、間、久

徳政

次(お原の寄附米)中田邦生)とつとき、海老、
栢他、とつとき、未の、谷村、一、大、り、とつとき、未の、京、都、山、陽、堂
足、辰、目、録、を、送、り、未の、宮、山、の、大、英、和、子、異、傳
右、投、取、取、取、取、とつとき、仙、石、夏、の、汗、を
傳、とつとき、金、澤、とつとき、桐、火、鉢、を、取、到、幸)

三十一日

時、中田邦生)とつとき、海老、とつとき、京、久、一、印、谷、村、一、大、印
二、投、取、取、取、取、とつとき、仙、石、夏、の、汗、を
傳、とつとき、金、澤、とつとき、桐、火、鉢、を、取、到、幸)

又、梅、林、福、田、村、跡、に、未の、赤、武、田、尾、末、出、版

部の件につき未振、宇野君真珠とて案と
り来り、事、供々光と付あて日車振始せと教
甚兵衛の酒会一と切りの能保と申す、
子音重徳、日本圖書院、今と来り

〇十一月

一日

日

晴、酒を死流し、其後、春城漫談七景、十時
放込、向う迎への自動車、うらむ、おき十一

榛原製

時、後乙、某館、つき三十分、放込、本日、七、何
全、回、書、館、と、於、一、齊、に、談、也、と、鼓、吹、才、者
初日也、二、休、久、間、久、一、物、陰、幕、式、の、あ、不
内、物、列、る、本、口、放、込、し、向、に、於、て、東、京、文、理、大、学
長、大、瀬、甚、大、中、と、合、す、午、後、山、内、雲、龍、来
訪、後、傳、言、を、攻、め、し、か、が、大、冬、の、教、授、ら、う、
答、え、つ、し、後、光、を、付、あ、て、お、宿、に、別、り、二、三、分、料
品、を、持、つ、て、帰、る、真、路、桂、香、の、女、氏、子、死、云
の、報、也、と、

昨、清稿輒次を自署「在及此在實冷」を扱の
 する文、地理地象を寄せしむる、時方、全の故
 送、うらま、大以、乙亥、つら、未、出、村山、龜、齡
 余が、死、文、を、載、せ、給、死、魂、悲、華、を、野、う
 来、の、宇、尾、館、深、来、る、今、夜、精、春、紙、を、扱、う、流
 谷、美、凡、の、補、を、扱、う、山、向、清、化、松、本、素、一、来、河
 改、上、弘、義、来、り、注、射、を、施、す、漫、畫、を、以、報
 此、の、小、島、香、風、西、洋、畫、家、在、田、納、を、付
 ひ、可、う、余、の、而、定、を、寄、し、色、紙、を、押、毫

藤原長

毛、を、乃、う、出、し、と、思、ふ、中、田、部、を、う、信、本
 二、枚、利、来、余、の、揮、毫、を、と、こ、め、す、る、所、得、税
 法、親、四、日、廿、十、日、納、付、牛、皮、森、脇、田、村、列、の
 文、内、抄、の、并、文、内、也、院、行、儀、り、打、瀬、こ、の、き
 考、也、河、内、淡、路、み、善、心、死、去、の、き、印、状、を
 考、了、三、川、の、休、存、代、武、ら、と、小、倉、を、送、り、来
 る、刻、宇、尾、館、の、親、族、者、谷、川、尚、一、に、物、美、奈、好
 二、扱、う、大、河、内、山、倫、清、水、美、生、日、席、清
 如、此、二、ニ、ス、と、以、つ、る、又、ある、人、也

三日

ぬか節

晴。早大を催す神欠進者の結果を報
し来る。四時、乗船し由子を付き墨堤に
散策、淡路の中流に酒飲して切く。出船
柳子あり功。市崎鉄大より海を徳大らるるに
未簡。今夜杉本素一に招き入東台湖心の笑
福亭に飲む。

四日

晴。出船部編輯より廣瀬法海と我が所を

榎原表

往徳々余の前日放送の稿を収めんとし来り
需去乃ち其の十一月八日早稲田中学の晩
会に招き。散策日本橋街頭、杖を
踏み、押川墨農未振、午後武田尾去、舟
宿、阪田増きの川崎真況と、酒肴別、舟
系西田通吉と、葎五津野り来る、真福
寺園寺辰とのき、名古所市東大山岩香天
し、葉由物来る、の田川政文、月あ浜、片山四基
の亦利。

五日

向、
四片山四嘉死をいつき、甲狀を履す、春城浸淫
を村山島嶼、郵送、坂本澤去、十日交府、
田中光野、向山田教城、西田清吉、未前、
四民敬慕、分、死人、幕集、勸誘、方、向、千、枚、
并、村、同、印刷、成、森、脇、田、村、と、文、の、協、合、と、
つき、内、議、す、原、田、秋、園、と、文、の、協、合、と、二、千、五、百、回、
寄、附、の、通、紙、を、三、文、く、午、後、而、を、衝、七、教、集、文、
行、也、を、送、る、一、二、の、書、を、お、て、ゆ、く、西、田、吹、
一、来、書、生、田、七、中、の、説、を、左、し、送、送、の、説、書、

棟原製

二題、頃、と、郵、送、す、

六日

而、在、外、の、松、井、郡、況、と、未、前、二、十、の、以、由、相、を、報、
し、来、り、武、田、尾、吉、来、接、於、此、を、兼、す、田、
中、穂、轉、二、女、結、婚、の、つ、き、祝、品、を、贈、り、午、後、故、
休、之、間、又、一、胸、像、除、幕、式、と、銘、出、(市、谷、八、幡、境、
内)、式、場、に、於、て、余、一、場、の、演、説、を、為、す、三、時、
始、書、久、以、来、一、来、り、福、縣、而、一、過、終、是、烈、風、驟、
然

七日

晴風、昨夜の烈風より最良の満地、作久河衛法
明の傳之河胸像除幕の控帳を測す、為の
事あり、以右三紙の紙の長短合々出陳すべし
文出控十一正を檢出、且つ三紙を夏蘭
池美代紙に交付、控帳を筆す七時を移す、
福田徳英文の控帳編纂の件、三村未孫、午後
森崎守功、山縣酒田井内猪一印を、魁の味噌
漬をまじり来る、村松梅風の三浦籠也を讀ん
ど時を考へ、冬刻大隈令紙、紙估合をいへ

棟原親

余一坊の清原をりし後、室の福、男音吉馬吉
士大守の杯、梅す、川北破初を、未孫、今又紙
估合出、席する五十名

八日

日

好時、控帳を筆す、生田七中、初田萬吉、宇尾
明海、五の志、三印、来る、前崎地念、控
開帳式(十七日)桑山物利、午前中、散策
浅草、墨堤、湯丸、浅草、杉、吉屋の
屋上、墨堤を下瞰し、中法、酒合し

乙卯一、午後、予々々々々々、睡成を合、夕刻、川
上、武内作平、法利、るる、(の急死を聴く、作平、
与一遺族挨拶、二、)。

九日

時、田川、政文、其、孫、濱、積、初、孫、席、中、
余、之、関、了、記、了、を、扱、り、了、横、濱、空、易、新、校
と、寄、り、了、了、十、時、日、印、創、合、記、の、重、校
今、之、臨、去、楠、瀬、向、々、未、前、坂、田、塚、中、
二、簡、を、是、了、文、行、中、を、扱、り、了、身、傍、仙、果、白、宮
本、北、取、記、の、二、冊、を、編、り、了、其、中、の、由、三、日、挿、入

榎原製

臨、洋、子、行、者、枕、絶、望、本、の、大、隈、元、是、四、
家、莫、の、先、死、人、若、集、手、の、一、の、由、
四、五、十、道、先、の、(を、了、)。

十日

時、南、島、席、中、了、了、全、家、校、了、亦、先、死、死、和、田、不
二、男、了、未、也、了、大、隈、元、是、了、の、了、了、別、却、と
列、り、相、中、を、神、了、了、子、了、人、病、此、の、了、了、不、思、也
山、大、隈、元、と、又、何、場、合、の、并、書、と、の、了、了、功、書
後、元、と、何、也、の、散、集、本、大、也、也、也、了、了、了、了、

のりまをほふ、三紙の茶の由未念宛、今と見
叶、まの紙七つ、信紙宛、あり、造字子
折玉、荒木十歌、菊花の幅表、杜若、成り

十一日

晴風、初未、終紙を兼す、山内、安藤、梅士、末四つ
ゆ、このき、光を遣いし、杜若、折山、陽、春、梅、陽、葉
六種と贈り、又、江、其、一、未、流、午、後、日、本、栲、三、紙、の
茶の由未、度、送、合、と、見、つ、今、夜、四、中、種、紙、母
の、信、紙、放、出、雲、の、言、ひ、折、入、ん、大、隈、合、紙、に、別、る

藤原親

十二日

晴、森川、意、の、紙、亦、兼、云、兼、行、二、つ、き、今、久、木、吉、の、添
簡、う、し、未、接、武、田、信、吉、の、紙、上、公、長、の、紙、に、注、射
も、受、り、新、右、三、紙、に、改、訂、の、紙、に、潤、す、る、長、紙、ん
今、と、見、中、打、包、に、紙、七、つ、く、二、紙、田、増、中、印、よ
り、未、出、大、隈、度、敬、慕、合、寄、り、人、勅、法、状、七
ヶ、通、投、函、畢、す、岩、佐、善、方、の、紙、也、善、を
寄、り、七、紙、の、廿、日、安、田、善、次、印、書、に、複、写、名、合、向
へ、金、を、聞、く、事、知、り、あり

十三日

此、今朝先と付、内を吉田より歸と初い先の縁
法、つぎ他、乾き、未、あう、出、政、部、の、す、と、糸、七、玄
、ゆ、途、日、を、持、く、廻、ら、う、白、木、倉、向、風、合、海、列、
船、五、と、船、心、資、生、生、に、政、す、右、左、平、相、山、均
一、身、功、横、田、真、富、も、し、未、出、政、に、五、堂、年、の、邊
稿、の、割、愛、も、も、と、あ、れ、の、政、事、執、と、と、四、堂、
工、千、大、に、や、白、土、族、に、代、の、款、()、人、の、案、由、然
利、之、海、念、寺、檀、中、信、代、市、島、鉄、大、ら、う、も、し、
未、出、午、後、無、聊、能、出、を、讀、ち、早、大、英、法、合、由

榎原製

今日、是、事、も、未、書、夜、未、雨

十四日

此、本、林、陽、圃、氏、敬、慕、今、事、務、の、つ、き、未、雨、
望、美、天、社、日、の、石、塚、の、中、政、上、離、居、る、地
こ、の、き、未、法、午、後、新、右、三、城、に、利、り、紙、に、聞、す
の、陣、列、を、己、の、宮、田、に、し、和、田、若、夫、島、四、幸
次、道、()、宮、内、有、御、殿、不、定、人、()、オ、と、今、一、別、家、と
放、法、一、七、時、を、移、す、ゆ、金、()、而、こ、男、の、放、天
向、こ、い、減、金、三、十、()、と、字、の、也、未、雨、兼、こ、日、の、

門の比子長の御札のり。又刻光の友人某某と
多岐田天宮の末の御札を酒とて飲時す。

十五日

日

雨雲、信の墨書、未と山の信、心未信、御後
大は、津平、洋金、このり、生、難と送る、来る。
日本色、教、来、午、夜、一時、ち、山、当、坊、刻
り、臨、沈、子、存、の、先、お、武、臨、時。

十六日

榛原製

陰、遠、石、角、次、り、未、と、死、田、中、坊、好、祥
の、御、札、の、電、紙、料、納、付、武、田、尾、吉、某、功、淨
念、寺、納、付、金、三、十、三、田、檀、中、信、氏、市、島、鉄、太
郎、郵、送、平、洋、金、このり、武、田、を、見、り、り、
牧、田、御、次、り、古、稀、紀、念、出、版、費、の、あ、り、筆、十
田、吉、の、御、札、の、御、札、死、去、の、き、中、札、を
見る、り、故、作、人、間、貞、一、良、の、御、札、の、が、ン、デ
一の、糸、車、を、讀、む、左、右、の、御、札、の、御、札、を、
未、と、赤、紙、封、を、寄、る、午後、文、行、を、を
信、の、川、路、聖、漢、の、換、神、祿、年、聖、漢、妻

高子の御草紙を贈り價二十三日也。四民教
纂今分の巻紙入奉集の玉枕千通出し給
果續り流末をまじりて了りよあり改二万
枚也。尚六七百も追加奉集枕巻送の手
配中也。於此と兼す、安河日以留未亡人
功

十七日

時、丹兵衛し仰依久間去八中茶口内生金
代記店の件につき丹兵衛原平の如仕状を
矢張り接、吉田安人の出状を交付す、公
為

榎原製

高原寺の御草紙七桐山均一奉訪、大隈彦彦
城二建つべき紀念碑あるに就て堀澤守丹
兵衛之助らと生鮮を贈る。カンデーの送
と誤む、午後の函印刺野郎と分工場(大木林)
に利り元の、高津尾に大崎を控ける今此の
用地を授けしとゆく、石塚保新の如く未
り鮮の味増漬お巻、寝後前島紀念館、
開演無事、奉式畢る方の電報あり

十八日

時、寺本、坂、雅、来、訪、森、脇、美、村、来、訪、相、山、均、一、下
リ、ウ、ラ、ル、山、林、兼、主、白、樺、知、意、ハ、品、を、贈、リ、来、ル、橋、田
讓、来、訪、既、シ、丹、兵、鉦、之、助、休、久、間、七、八、日、内
生、命、と、交、渉、の、報、告、の、為、め、身、を、擧、げ、皆、身、を
植、布、衣、ニ、入、来、ル、十、一、時、迄、を、付、之、散、策、日
本、橋、筋、の、早、日、廿、五、日、に、木、部、ハ、二、王、尊、守、之
双、を、贈、ル、と、仰、ケ、テ、午、後、亦、而、来、ル、相、山、藤、田、
洲、也、と、是、方、テ、幅、布、衣、を、個、出、果、然、報、を、奉、ル、ト、
成、ル、又、シ、和、田、若、為、夫、今、津、甚、海、海、と、廿、二、日、同
人、速、足、今、の、渡、リ、状、列、シ、

榊原製

十九日

時、武、田、尾、主、身、を、送、ル、大、江、乙、亥、ノ、身、を、接、
没、海、と、揮、一、毫、を、遣、ル、森、脇、七、来、訪、植、木
職、引、ノ、キ、ニ、人、来、ル、今、津、ハ、一、身、ノ、方、向、に
ノ、キ、長、瀬、列、シ、午、後、中、条、ノ、日、清、生、命、代、理
店、ノ、ノ、キ、吉、田、秀、人、を、令、代、理、シ、不、在、ノ、ノ、キ、門
田、原、記、也、と、送、リ、シ、和、田、生、を、散、策、一、七、均、シ、

二十日

時、橋、田、讓、木、林、脚、美、村、大、日、本、編、纂、の、件、に、付、

未だ、今津ハ一々日本美術史(飛鳥時代)
を考へて、十時出政部と判り、部員を合
して出政部の悲境を説き復讐のため
減費減傳の正否を得ることを申渡す
午後中條口(清生)命代に度更ニ付、
同社支部長(服部)を次郎、大司馬
田善次郎万を訪ひ、稀色積出る會日、
を聞くと、あつと四五の古字紙をよめる、余小四
の墨蹟を持参して示す、あつと塔形の銀象
を贈ると大空火の銀解の銀を以て心うと云ふ

藤原製

二十一日

明日、銀をよると未書ニ紙紙ニ送す、
送合、出政の家、十一時、十時、
出政部の後、更なる、臨み、余とて改革
の節、約ありと説き、本坊、決算を決
す、大谷、順心、投簡、川上、淳一郎、の
計、直に、帛状をよると、亦、改、田、場、中、の、
内子、歌、舞、伎、屋、の、山、口、副、の、
此、部、合、
既、の、以、流、し、就、し、と、後、あ、
お、ふ、の、う、

伏見、奥飯後、車を返り、橋を
 テーレシヨシと列す。和田若を、今、河、橋井、林
 渡りの寺と令し、自動車ニ乗、同乗一
 日のドライブを試みんとし、八時半、野を
 ず、途中、林、葵、末、夫、も、来、り、乗、る、此、の、行、奥
 多摩川の河原と紅葉を採ると、先
 づ、河原に出で、主川に列す。途中、山、年、車、を
 中、に、設、け、り、多、摩、川、の、墓、地、を、見、る、墓
 地、廣、闊、樹、木、風、致、あり、并、流、緩、歩

藤原製

を、切、す、主、川、に、列、り、飛、行、場、を、横、に、元、を
 車を返り、橋を、流石に、店、を、り、羽、村、に、列、す
 途中、村山、備、わ、地、の、形、跡、を、見、る、東、京、の、外
 尾、の、あ、こ、こ、も、見、る、(河、原、)地、を、経、て、車、を、
 来、り、也、道、傍、に、水、神、の、祠、あり、水、尾、の、神、
 あ、り、水、流、甚、だ、い、改、あり、元、ら、も、古、橋、に、
 の、一、路、樹、葉、落、葉、は、み、黄、葉、の、村、を、出、て、
 黄、葉、の、村、を、入、り、の、感、あり、御、嶽、の、道、に、く、澤、
 井、村、の、山、を、く、寒、山、寺、を、登、り、る、こ、の、あ、り、楓
 江、に、橋、を、築、し、寺、に、列、す、一、程、の、風、致、あり、橋、畔

の一茶店に入らば酒を仰ぐ時十一時也。こゝより
り然又の直境に入る射山溪、寒山寺への溪
流の上よりあり、車の馳て鳩の巢に列る。
路頭、車を急ぎて下り坂路を下り、巨巖
錯立の家を列り、溪流を穿つて行厨をひ
とく、此地の御厩江戸の大火、建築材を
この地に取り取りとまふ、今も木材を溪流に
流送するを乞ふ。坂路下り、便りも登るに
艱う、先骨甚し、困り、運搬も、坂路
九時半おして、攀下り、赤車を馳せ、氷川

より、奥沢川神社を祀し、海津橋を渡り
溪流を穿す、偶々野菜の競日、追即是
今あり、余山百合、十個を贈ふ、價を四
ハ、廉あり、く、一斗を割き、一行の、人、興
ふ、氷川の北行の最後、射山溪の一茶店、今
た、七、帰、故、に、就、く、射山溪の一茶店、今
亦杯を吞く、微、之、を、帶、び、車、を、馳、せ、五、時、は
家、に、還、る、奥、多、摩、の、昨、年、の、た、り、事、も、あ
り、七、仔、細、な、溪、流、を、穿、つ、て、今、次、を、始、め
と、す、紅、葉、の、時、節、に、偶、々、好、味、を、得、ぬ、事

まゝし、坂田増五郎と申し来也、前島記念館に
彼の記念品を贈り来也、誦法礼と申し来也、
余の寄符をもとめ来也、

二十三日

新嘗祭

而、朝拜時、龍の祀を兼す、十時出遊、八時
町中林時、折戻、破損の時、舟の修繕を託
す、折戻、三宮、免の為、舟の猫の置物
を壊す、資生堂に飲、七時、植木、櫻川
つき、二人来也、午後、龍を七換、又、折、川

榛原製

也、

二十四日

晴、朝、お吉と申し来也、今、時八、二、節、す、
又、少、林、望、三、に、一、色、を、あ、り、植、木、を、二、人、来
也、五十、泉、力、の、地、事、三、大、國、民、道、を、演、説、す、武
田、尾、吉、出、政、部、用、う、と、未、極、改、上、弘、花、井、の、
注射、を、施、す、村、山、節、の、節、を、来、也、春、城、漫、遊、
三、部、交、付、本、谷、川、流、也、の、文、字、と、し、の、維、摩、經、
を、讀、也、坂、田、増、五、郎、と、し、来、也、龍、泉、を、兼、す、

又閑に乘じて一年間の紀要を乞ふ、和国公文
来り、早大子を生監、日月表三冊の紙刷り、

二十五日

時、波多野賢一と名を、福田徳、大日本編輯上
の打合に事あり、余の筆澤に校印を講讀を叙めり、
同歩級能法、都那接州、和国吳松、使を乞へ、
家藏古文書卷三、等筆者石の令元、神務又、
吟よ、返、日辰を七とめ、撰くゆき、西条丹兵衛、
村上産能、日塩引、買求方頼入、和国吳松、

棟原製

波多野賢一、投前、午後、此、月、表三冊
の義本儀、と臨、植、本、を、二、人、引、つ、き、来、り、
又、行、巻、を、祈、の、も、古、文、書、此、用、大、ア、ハ、心、ハ、三、冊、終
入、

二十六日

時、和国、萬、才、一、出、を、為、す、松、井、郡、治、時、朝、今、朝
挨拶、に、来、り、過、り、萬、山、表、三、冊、の、古、画、と、持、来、り、題
画、を、祈、ふ、吐、嗟、執、筆、痛、く、成、す、山、田、古、代、書、
の、復、元、本、二、冊、配、本、克、三、川、に、赴、き、休、養、行

此を讀み、板本を引つゞき二人來り、字尾の傳
を難の味増法を贈り來り、和田萬をくも
素志と互にらん出をもめり、温文分も十二月六
日車京別所觀劇あり内列る、故後母を田村
勇次と素材のすりこぎ三本贈り來り、銀
道に散策香と婚を伯來古文書ののバラ
くろくとの數十巻とアルバムと壯装漢書と
救正理一七時を移す、異國業者の内クル
ゼンレエテル(羽に上り譯)二冊配本を
受く

日本銀行

積原製

二十七日

昨史料編纂所より函を龍一より和田共
松の病に應じる百紙に開する展覧会に出陳
の爲に在り古文書十一點貸付傳り有後
欲古文書を大凡ハハに贈り込り二冊成る、リル
ゼンレエテル日本銀行を後あり、同者彼城分
リ美也、板本を三人引つゞきとあり庭木の平入を
より、此と武次より、油部木山田山平おと
午後三時華族分館に到り、文政協会の例會を
開き、海軍少將有馬寛のソロエツト、異國の現

此の朝七藩漢を聴く、今より牛込古友一行き
出陣部を休職を命じ、古友山田村の慰問分
隊也。

二十八日

皇天、宇尾の海に投函、坂田増五郎、宇の附
皇親り、四る五十五日、船の為、船を運送、船
行勢、七る、引出す、海を、流中、而
同、海す、大、浪、毛、居、紀念、船、編、輯、費、と、一、の、余
の、主、務、也、朝鮮、獎、産、所、長、伊、藤、伊、直、主、務、功、和、四

榎原製

此、の、海、す、石、塚、と、坂、上、と、高、取、と、の、間、の、新、田
沙、田、の、つ、き、の、新、田、武、田、石、田、出、陣、部、の、要
件、の、き、の、新、田、中、年、大、浪、毛、未、浪、又、小、浪、原、敵
小、栗、林、兵、士、三、男、日、入、二、の、件、の、つ、き、未、浪、の、十二
時、六、年、新、田、新、田、塩、津、原、部、内、田、嘉、光、山、本
志、真、一、志、仰、馬、田、高、原、和、一、岡、井、遠、一、外、務、書、池
田、江、戸、千、大、浪、毛、の、上、長、島、物、の、助、を、命、じ、的
年、四、月、大、浪、毛、原、部、新、田、政、文、大、日、本、出、陣、の
付、編、輯、の、つ、き、を、編、輯、す、午、後、雨、あ、り、田、中、和
田、嘉、光、和、一、志、仰、馬、田、高、原、和、一、岡、井、遠、一、外、務、書、池

和田英村の史料のさつ家たるを懸捨り陰平に
由る所少なきが味旨を纏らし公談亦展覧
ハ時ニありあり。金六石日月未拂内あり交
付

二十九日 日

時、能原と筆す、川上漢一に去つてき書を郵送し
十二月五日、名内省圖書寮書を展覧の事あり
村、田村在二守、又能原の事あり、つぎ来稿
宇尾茂く恒春大と贈る。昨夜和田英村と示

榎原製

し、家蔵の古文書史料撰集を全部修訂
を請求し、未だ依りも混す、不日交付の筈也、久
五年の命日、つぎ光と死に展覧、和信と通
り、非、あ、飲、七、悔、一、一、所、乃、石、塚、あ、ま、ま、魁、の
す、し、子、を、送、り、来、る、ハ、其、時、計、底、く、終、理、を、款
ふ、る、時、中、時、計、出、来、

三十日

時、相、来、能、原、と、筆、す、和、田、英、村、と、一、簡、を、寄
す、又、相、山、均、一、一、一、と、投、り、大、隈、元、辰、紀

念碑体制に就て云々、楠瀬恂来訪、和
田若布玄少林行方々、未也、楠瀬恂日大連上
リ、伯耆齋主、木の葉抄の影繪人形二點、朝
鮮陶器、字史略、空本一と贈る、畫冊、
大津繪と云ふて成る。早稲田の報の今并
一、即来り、吹日、柏根の川上渡、一、就て余
の漢流を云ふ、乃ち余自から筆化を約す、
植木局二人来り、午後散策、坂田増五、今来
書、散策中、米田時代、船の模品を贈ふ、價
十八圓、五、丸也、新石塚、あ、細夫と郵送

榎原製

の書後、又旅記を著す。

〇 十二月

一日

早稲田の報、校、靴、川上渡、
其の文と云ふ、武田信玄、稲田、徳、
津、ハ、一、未也、且つ、
リ、午、後、文、行、を、と、
它、の、ゆ、ゆ、拂、入、の、
簡、二、通、を、草、一、し、
木、林、胸、に、交、付、す、

ハニ又誠忠を為す、和田英招とて来書、同者
彼等々々と名物押下州来、植木屋
三人可也。

二日

昨、川村山越し印も、只原登野寺幡の懸
運を移み来り、真一寺とて通す、坂上石屋
リ洋射を多く、植木屋引つきて二人来り、旅
船を寄す、後、田山忠方、森川善一印よ
り来出、文科大學史料課、家長印の文書受
け十二紙、貨付、早大の副将、早大の五日後

榎原製

柳井忠方
昨錦丸、事の始末と余を脱き、小集と催さる
ふつき未始、午後散策、白木屋の満蒙辰院
念を乞ふ、一時吹浪、後性、地震あり。

三日

昨、早稲のり、糸、山口町等、只在柳井山
とて来書、正、磁器の考、洋の命、七、八、九、十、
報い未、磁器と兼す、亦古文書(家長)目
録を乞ふ、前原比とて来り、此の、果物鑑
法清物を贈り来り、柳田の田山忠大の考

相違を断て、植木の二人、花井早虎の
急死と傳ふ。

四日

時、朝来、船を乗せ、山田に往き、舟に坐り、
二回者、新法と云ふ件、この事、回者、船中、
〜と来出、林町、家、〜と忘年、今、〜と電
法あり、敵、柔、物、を、獲、ひ、日、を、得、甚、兵、衛、入
敵、〜とゆゑ、信、之、同、一、銅、像、の、在、者、坂、道、二、町
坊、物、を、得、〜、満、蒙、出、征、軍、營、同、二、回、者、獲

稗原製

説と違ふ、為、め、若、干、を、檢、出、す、宇、尾、の、邊、
来、出、植、木、を、二、人、来、り、毛、井、坂、の、北、に、到、り、

五日

時、内子、と、傳、ふ、淡、香、に、遊、心、杉、屋、屋、上、〜、地、那、
中、法、に、敵、〜、二、回、に、物、を、獲、り、二、時、安、田、表
〜、方、に、書、使、結、完、の、因、入、合、合、今、今、の、観、約、不、
〜、堀、邊、を、和、田、徳、富、殿、軍、三、村、康、成、植、木、就
大、り、長、江、敷、矩、也、橋、井、法、也、川、瀬、一、馬、外、三
十、八、町、也、其、時、敵、一、七、折、橋、舟、法、に、到、り、と、傳、早

大田中統去、高田城内にて、松平伯外四
の理より日度、大隈元侯致書、今貴城人の
承送、四万八千石、名に達す、松平を二人奉り

二日

内、江島桑作、馬込陣を、坂口、献吉、利了、春成
漫遊を、甚ふ、前幕、高田、寺、龍二、ある、石、高
を、藤六、松井、殿、次、来、込、酒、一、七、拾、三、石、塚
三、中、来、合、城、上、山、形、河、川、越、こ、つ、き、松、井、と
因、り、木、村、川、之、意、に、計、り、馬、込、陣、後、書、の、方、出

徳原製

版の件、このまゝ、協議す、又、打一、太、印、の、見
り、兼、り、高、田、市、の、聖、宮、河、川、今、日、見、候、と
定、り、せ、し、ま、り、松、井、と、し、洋、の、出、書、と、候、も
の、松、平、を、形、打、つ、こ、き、こ、入、来、あ、る、

七日

時、有、答、書、松、平、の、部、別、の、吊、状、を、見、及、す、福、田、讓、来
梅、折、紙、を、筆、下、す、文、行、本、を、初、の、七、懸、講、一、冊
廿、角、十、牛、角、圓、永、核、并、に、お、り、ち、や、え、成、字
各、一、卷、江、戸、市、井、原、保、圓、一、卷、を、得、し、物

此紙は幣とて新年飾に收めしき揮毫と
もとの末の互のちと投郵 是日茶宴と
也亦同山忠をうぬむ利の、明日大隈別邸へ持
参す女も菓子も信をうぬむ、本庄坊印書
作茶澄未の此正校を今名海別邸へ送郵未
し山内合、納の位辛を贈り未。

八日

昨今朝光の付早朝品物大隈家別
邸へ作の、去田和男より未書、又吹者三よ

藤原製

り祝名利未、御紙を著す、未炭四十俵買入
午後叔集、大隈別邸へ銀無ハシケテ、お早朝の
挨拶の寄せらる。今津ハ一と一身の道返、三つき去
河を空て、此夜一時の夢さめて睡を得ず
枕敷の紙を讀み、云のり。

九日

昨森脇武田貞次、十時の印刷り、重役合、臨
み、本季ハ今の配南を決す、今紙の状況前季
より、お出中、信川墨書、本庄、江島、

三瓶刊本、新刊石印書ありとタラハ蟹
を賜り来り、新刊古田和男一簡を賜す、前
島酒男狂态の透血に罹り静養中なりと云キ
見嘉状を呈す、三省堂の高橋精輔より現代
百科事典五冊の内一冊上段のき紹介文を頼ま
す。

十日

晴、早大生井上作流印事振書と治山、朝来純
和を蒙り、十時出陣あり、本町退合を以て
無恥句を決す、平定登美大兄の卦引る、香典

徳原製

と送る、高橋精輔に謝す、大隈彦敬著人の
著記人此の通りと云る三十五名に逢す、一時
う散策、治山日をも格定し、おびゆき、大吹
有、三つと斗ふ者、日本所生者、う高橋と贈
り来り、忘年合打合、高橋と贈す、高橋は
先ずあり

十日

晴、同解現代百科事典の紹介文を蒙り、高橋
精輔に交付、本林陽福四斗事、治山、治文大日本

編纂の件につき打合の為時を待す。日本女子大
学校長更迭につき、未間和純に投簡あり
連由お協力内閣を呈唱し、閣員と一政を期
き内閣流解職の説傳つ。午後散策、東三
時迄ともし小而判り、新沼新多の元旦節に寄
ちんき文を心り初稿成す。夜未雨、内閣遊に終
辭概

十二日

夜改に献て来り、新沼新多の元旦節に
ぬむへき余
の少行と思ふ。後部未坪川里若原日孫、

榎原製

出版部より高田博士寄書あり、新南利来、空
骨老高、美術局委員のあまのこりりり目録
と精査、岡山好古傳即大井山を校中杉山静
大、こも未也、午後二二子入為り、揮毫早
大寺川部に於て、此ら等、學休中委あり、陳情
之別来、散策文行巻と、此等、前田松雪公
の文書二三巻、そと獲て、此ら、組閣の大命、大春
政友会總裁に降す。

十三日

とて欧西藝術史(國伊能著)家庭百科(書)
とて(補遺)索引)と案せしむ。江島奈雄と
酒五郎川村。

二十二日

晴朝未死紙を筆す、本林臨日白禪の句集を贈
ふ、文の揃ふ本紙本、海邊(死)中(中)本、横、横作
公略歴印刷成り、水戸(前)守と後(時)と
移す、三時(さ)き(林)の(家)家(と)記(して)其(の)志
年(令)と臨(日)和(田)氏(と)報(解)に(就)て(其)の(可)の

許(漢)身(り)雨(降)り(氣)温(寒)し

二十三日

晴十時(日)清(即)刷(會)社(の)送(令)と臨(日)八(分)
の(配)中(と)決(す)、余(の)紙(中)額(二)万(二)千(五)百
兩(分)万(九)千(四)也(者)其(金)七(千)四(百)五(十)兩
三(十)六(兩)也、今(日)市(原)自(知)り(者)會(做)
漢(瓦)と持(志)平(後)教(果)文(の)中(と)交(る)
文(書)と持(志)幼(童)の(印)其(中)自(入)る(日)と持(志)
甚(其)衛(と)酒(飲)し(七)妙(く)六(文)以(其)し(と)考

意の懸運を信託し来る。出村二天、印し来る
書、おあま草子、結結、まき末、おあま
一庭に入る

二十四日

晴城ハ祝吉来訪、横川を贈る。才一坊の
支店、二千八十三圓三十九圓、預け入る。是午
田引出す、祝神樂改志、局、折園、額マ
り、修禱を祝す、三祝、一二拍を贈り、神田
の三書、店を訪り、村に入る。五十三圓、山本、

山本

二十四日、祝吉、田引、林四日支拂、毎年例と
し、七早、孝、出す。乾海、甚山、茶、毛、二十圓、買
入る。前田、染、價、八十五圓、拂、山、田、信、心、
祝儀、名、為、美、送、末、崇、代、三十九圓、支、拂、吉、山、
大隈、海、毛、武、次、中、田、邦、先、才、毛、早、孝、
昌、川、末、午、後、旋、廻、を、奉、す、毛、二、万、圓、品、
三、毛、才、二、万、圓、家、財、し、し、由、子、毛、海、す、横、木、
尾、拂、完、四、十、圓、由、子、海、午、後、珠、環、器、を、訪、り、毛、
拂、六、十、圓、海、ま、り、毛、古、板、お、あ、修、行、末、五、冊、毛、
晴、山、二、十、日、拂、海、丹、美、氏、物、四、毛、毛、末、梅、款、

二へうあ

廿五日

大正天皇祭

お刺来二三子の為揮毫、木林陽子、木林川憲
に他も未出、改上りて注射もよく、完を付せ
給上、物を嬉々、美酒、酒飲、心路一二
小品、骨董を嬉々、

廿六日

晴、大吹雪、三山、田舎、山見、未出、刺来、能保を業
す、桐山、均一大隈、元公、纪念碑、設、斗、田、を持

先、一七、示、マ、寺、崎、元、重、身、元、三、年、祥、五、年
の子を休め、て来、り、且、つ、二、物、を、贈、り、午後
徳人の、散策、回来、亦、能保、を、業、す、法、言、し、
り、の、事、も、列、り、

廿七日

晴、是、修、を、極、ま、お、ン、カ、ン、利、達、坂、の、献、ま、し、
難、血、刺、来、紙、依、昔、命、者、刊、行、の、致、意、也、毛、
し、上、野、木、林、陽、子、揚、子、能、保、を、業、す、三、者、也、
の、高、原、初、梅、子、揚、子、金、二十、四、持、冬、小、久、江、種

村交り来橋村山邊遊しと久祝堂の修んうまこと
善七来り、伊藤伊左来橋、午後散策、文の巻
ニ柱七圓方を橋の、十五田耕入、此世の年未旋
遊と元七由り

二十八日

雨、伊藤伊左、田村在、中、来、泊、早、の、流、を、或
流、中、の、草、符、と、漢、の、吉、田、和、男、を、未、也、午
後、子、に、供、み、散、策、新、右、に、列、り、早、男、の、遊、遊、を
元、七、の、圓、方、と、神、橋、上、の、太、本、辰、を、元、七、の、由、り

立時多、善、遊、遊、多、に、概、り、山、田、の、心、娘、の、法
嬉、技、の、心、の、序、に、臨、み、祝、詠、を、陳、ぶ、各、所、の、
の、家、の、品、類、類、

二十九日

晴、山、田、部、も、い、山、科、遊、の、鍵、配、本、散、策、今、委
員、今、を、一、月、十、日、大、浪、別、所、に、遊、し、つ、き、出、立、を、お
す、徳、田、秋、江、の、あ、な、城、前、を、知、候、し、七、時、を、移、す、金
寺、の、向、印、の、文、廿、五、時、を、星、屋、茶、屋、に、印、刷、會、地
重、役、と、忘、年、合、も、い、ら、う、今日、餅、を、搗、き、卯、年

左の如し。

昭和六年摘要

昭和六年終り、例に依り一年間の摘要を巻尾に附す

一 新年熱海に浴し、増内の森と往来し且つ閑を乗りして漫談を著す、昨年北城新聞と清いん漫談二百回連載を遂し、此年十二月より掲載を博し始め、秀来好評を博しつゝあり、熱海滞り五日、今日の漫談を著す、此方の舊石橋口旅館に宿す
一 才一銀行當座預金の内金三千円也を

榛原製

定期預金と振替一年振立利子四分五厘
一本町にある商家の新年宴會に招く
一本年起著の雑誌と自娛小録と書
す
一余か會長が圓劇向上會に演藝藝術家
として名を著す畫彫刻と演劇場施設陳
列し心者を招待す此の作品金全部六千
圓を賣却其代金を會の収入とする一
又宴會を張り輪旋者を招く
一障子建具風呂の修理を加ふ

一文の協會に今教授を招き考現考の
講演を聴く
一二月十七日の余の誕辰に春城人をも招き
出席四人として満ちる余の小銅像を
贈る作者の郷人林洋清を一月以來
屢々余と接見し其塑像三年入をり
つかひに致成り
一橋に就て興味を感じ多少研究する所あり
業心して文の協會のニエースの掲げ又
北城新聞の漫談を加ふ

一 早大の塩澤昌久并ニ坂本三郎共ニ病
人ニ入院ニ付キ前者ニ元々金五十圓後者
ニ三十圓を贈リ、坂本遂ニ死亡
一 三月初旬毎日熱海ニ赴キ施設ニ引付
リ頻々筆を弄シ漫談百圓後の分を
乞フ

一 北城彦枝ニ謝金五十圓到來
一 兒岳家の菅兵衛用園家と改築す
一 三月廿六日漫談百圓ニ達す、更ニ續
載の挨拶文を掲ぐ

棟原製

一 去年昭和七年大隈首相歿後十年ニ相
當スルニ付キ隈門今日人衆の爲メ進捗令
を計畫シ実行委員を挙げ金を募集す
ニ奉ク右ニ付キ四月六日委員令をひら
き大略の方法を決定す
一 在東京の女婿重恒の請ニ依リ余の家
の系譜を送る
一 四月十一日内子を伴ふニ旅行を試み甲州街
道を経テ河口湖ニ到リ、是より自動車
を駛リ相模に入り一宿し七時頃

一四月十六十七日ありの圖書館大会に臨む
 一「教育局外観」に一篇を寄す。又雑誌「家
 の光」に稿を投ず
 一丹後宗淳の未刊の
 一十畝舎田人と遠足を興く。鬼怒川溪の
 一遊び一泊してゆく。四月十日
 一郷里お原二年明け忘今起る余を名巻
 舎貴に推す。余より訪に應じ舎の名及溪
 の首端と序を伝ふ
 一「回割向上令」を雑誌「藝術殿」を委

徳原

行す

一「新制日本漢本」を余が随筆中にも松の
 一編を採録せんことを案じ乃ち撰す
 一三省巻の漢本を余が随筆中日記を書
 くに心得を採録せんことを決むる
 一「高橋義彦」の未刊の四月三十日
 一「市山」の漢本を余が春城集に採り
 一の一篇を採録せんことを案じ乃ち撰す
 一五月十七日圖書協会の十二人と自動車
 のドライブを試み金沢文庫を訪む日久

濱の彼地上陸地遺蹟を見、三浦三崎の地誌
を訪ひ、油壺の跡を探り、帝大の臨海試験
所を訪ひ物を物する

一 下村觀山の追悼会を催す余も亦其
の一

一 出取部不況六月半季無配當

一 日清印刷会社業務外成績一八分の配當
を為す、次季の不況を憂うお島内の社内係員
をうしと高八分の配當をうし得たり

一 本年多く知人の訃に接す、今又の雄心大概

如電又朱邦武、矢野文雄、北里柴三郎、山川
健次、中一田、尾崎重、藤井健次、中一皆逝く
一 七月下旬北風新報に連載の春城漫談二百
回結了

一 昨年末の校務授受から、林信一件、激しく
解け、高田信夫病を以つて辞任と決し、余を
九つつき、早大各科の会、其の理由を代筆し
且つ善後をつきり、ドする不あり

一 同上の件につき、高田信夫を訪ひて、諒解を乞
と見え、ステートメントを採り、七紙綴り、校務会

幹事より配布し、維持費令に踏みかき亦田高
田の為りて代弁し、或る力あり、終に維持費令
の認むるをとり、後任総長に田中穂積
を奉く

一七月三日新総長の就任式を奉く

一七月四日評議費令に踏みかき田に代り病氣
辭任の事を云ふ

一早大維持費令余の多年の切分を多とし

一若五千圓を授與するの決議をとり、其の
授與を多し七月十日

一書畫骨董宛紙に一稿を空のす

一保科孝一の回語後本のは余の逸業
より今の二篇を収録をもとめ、あるは

一七月十日田中後瀬波の沙路校なる令に、田
中新総長に回付して、信又、母田流に、遊心堂
田中田中文次中の墓を展し、沙路に出て一
あり、評議令と物く。

一三菱銀行借入金五千圓を却

一愛女の友に一稿を空のす

一八月七日、新編函山録に、遊心環遊亭校

之居し藤田續造の囑に依し其著の法百法
の房をも世つて定むる

一五十六の所有地とんて高橋義彦に寄託
も托しありし家以人死云このき更らぬ家
家と其現を托しけり

一高橋義彦の遺什古経古文書書畫
を贈ふ此價三千円也

一和泉文三女め美の子と迎ふ真崎代城
未三人ハ不死去

一九月八日三紙時好代出都に報へん頼山

陽に就て一所の海漢を為す

一兎の有り日法印刷株十株を贈ふ此價
三百五十円也

一四活漢文研究會を以て其を行回文漢
本に余の絶筆や一各工如泥の一々命を採
扱せんことを請ふ詠す

一新支聯會の囑に依し頼山陽に就ての
種を定めず謝金六十圓日福名日江上よ
り別未

一回考彼存徳に日暮高の回考の元板

振りの一篇を書いた

一矢野龍溪の進歩會に就む

一清書事一を起す

一舊會の所を地と地目変更なり、測量登
記を公平敷外、り頗る面倒を免く、漸
やく済む

一十月廿六日大隈海軍早大の維持員就任に
つき余も吉田ほかと提携して辞任、三
人辞任のステートメントを也る

一十月九日圖書館大倉に臨む為め石川

一全金貯こ出来三日滞在、講演会に臨み
前田松雪侯の吉談を演ず

一全海軍在中全海軍の校友余の考案を
授かるるを謝す

一石川給を以て戦後に入りあるに於て御
志望の為め、野山湯の講演を考へ、新比
る開けの上、紙張も、こも物案

一肥田中錦川(長三郎)の遺稿を序す
一児長家の講集を改修す

一十月八日の早大維持員會の辞任の余に對

一在職中の功を勤し謝状を寄せりある事
一郷里の原に木の枝が繁榮成り余り扁額を寄せり
書して送る又郷堂の曰く今も名を命せんこと
を請ふ即ち同存余の名を懸んて此處に立す
又先師星野居士撰ふ所の徳志園碑陰
記を録し扁額として天相山の一事を掲げ
園の沿革を知らしめんと欲し表装を以て人
に托す

一知人の書簡中の約三百通を選擇し之を
アルバムに張り込み保存を期し裏打ぶる二

棒原製

三明司知あ文三を考す

一川路聖謨の遺印并に河草平飽筆を
鑑め

一雜誌「大坂後」に刊行する枝無四葉漢と書
す

一金澤に於ける待渡を筆紙し回書館旋
転と書す

一金澤園古賀とし出法待渡の漸礼と桐
の丸形火鉢を双を寄りせりある

一佐久間貞一州原市谷八幡境内に建及

成りたることも其の除幕式に臨み一場の演説をもちたり

十一月一日「讀書の萬能」を放送す此日も一週間の全回を放送が一齋に讀書の鼓吹をもち讀書デー也 此日三十日別表

一滋澤子齋逝去

一前島齋男生徒地に紀念物館を設くるの事あり十一月十七日其の開演式を行ふ余在東京に在る者として幕僚の多しを擔任し余も荒干空の附す且つ細心の前面に刻す

榛原製

又字を心す

一大隈元侯國民教養会も来年四月開くこのき先づ各社人千五ふる人を募集す

と一勸誘の状をもちり 其(又)満志院

ニ承流し 十二月下旬 二五名 入連す

一出版部不況甚しく一以て減俸減費を

行い 其の計算引合の事更なる四萬圓減額

せん と欲し 一大改革も行ふ 十二月ハ勿論無

配布也

十一月廿二日回考彼以七名と自動車

トウキアを試み、奥多摩の猿蓑を搦り氷川迄
行て物くす

一画家荒木十畝にヤムには赴くことし百両銭
別を贈り、返禮に一幅の菊列末。

一友人竹内作平(法判の者)川上邊一即死去

一四年おこ觸れしヤ品を焼く、本年得たるよの百
二葉人とす

一北地り敷に連載の春城漫話(多々う版を刊
用しと冊子に刷りしものよ上下二巻)の人五十巻に
配布

徳原製

一家老の古文書は巻の内三巻を葉あるゆのもの
少々ありつぎ和田吳松とあし其の五冊を抄か
てあのかゆを得たり

一早大田寺後花六朝宮本皇侃礼記義疏
並に玉葉命回覽に指定する多し此二書は金銀
長時成田中元顯伯より寄附を受けたり
係上伯に余も報告書海をききりて
を寄せ伯の答書を得たり

一バラくの古文書を教心記して大アールバム三冊
に収め候覧に便す

一紙に別して長巻令に添列して家蔵の古文書
帝大史料編纂部宛の注目と懇き史料採
り借覧を求め来りて貸付す。
後赤田英松を祀る家蔵の他の古文書七十
冊を亦す、和国古史料採の爲め借覧を請
求せし十二點貸付。
校友川上源三郎を悼む文を早稲田之報に
登す。

本年圖書の購入は約千二百冊書畫は千冊小品骨
董は約五百冊を費す此計二千七百冊外は前掲

古栲義之序書(什引元代三千冊あり不況時代
に於て發賣澤と云ふへし)

三省堂出版の国解現代百科辞典の爲め
推賞文を心り後受りて之を掲ぐ

市河仙舟の鑑を著し元の辨に掲ぐへし(文を著
す)

昭和七年の漢本を余が遺棄す(漢本使節の一冊
を採録す)

●法印厨舎地蔵堂の好況八分り配布を著す
紙信書あり刊行の致意を著す

昭和七年

一月九日

例の如く晴れて六藝朗々かき、深夜の下血多困
るゝが、左乳一側に行き便を控へざるゝの
血混じあり、別に氣分よく憂へるゝせんゝ、故上
を抜き一診をとらひ大腸か又んの為すゝと判断
し血を止める注射と大腸か又んにするゝ注射
を多け敷薬を服す、禁酒の戒あり、元
日吾こ日氣あり。於此を著し七血聊
を叙す、便利を、近利山家心中集一様

を能くし来日、賀喜の例の如く、物騒しくと判り、在
熱海管内道内、存久寛三、向す、能くも、後、
時と物す、夜に入り、天候者三、判り、夜未雨あり

二日

雨、後、ぬき、春めく、中夜、の、梅を、雪、空、中、
の大、幅、の、改、め、の、互、物、七、寿、元、に、改、め、今、朝、の、餅
を、腐、し、七、粥、を、す、く、る。醫、師、の、を、空、体、を、判、り、
来、り、ん、ど、を、判、候、也、を、き、春、の、報、す、人、き、こ、と、
判、り、と、異、る、る。所、な、き、改、未、診、を、断、ら、る。春、の、

春原製

賀喜の内、信の、あるもの、二十、五、改、アル、ハ、山、に、
す、よ、き、春、の、道、の、よ、い、人、と、無、一、賀、喜、も、来、ら
せん、ハ、無、聊、を、を、考、る、以、ん、志、き、り、と、
の、の、病、を、校、閲、考、る、勅、候、也、す、レ、ヤ、山、の、
木、十、畝、の、消、出、判、り、消、出、或、江、中、を、
ゆ、せ、一、時、計、判、候、也、文、三、春、の、よ、き、
供、と、云、す、午、後、於、所、を、筆、し、ら、る、大、改、文
樂、座、の、放、美、を、聴、く、
後、漢、書、

三日

日

時大便の下血を尋見し、逐戒し、こゝろ元日か
禁酒禁食、之を肉を牛乳鶏卵も亦禁め
え、氣分よし、是より異り、有けん、も先か、
中、日あること、夜分、早く、寐、も、眠、を、の、こ
るか、為、り、の、能、能、を、後、も、能、久、書、問、の、湯
逐、式、沈、印、の、系、稿、を、校、閲、す、る、必、要、か、あ
る、を、も、入、か、自、死、日、課、を、も、今、朝、七、百、数
十、頁、後、過、す、以上、来、診、亦、注射、を、受、く、
大腸を空し、全日、よ、し、と、云、ふ、能、能、を、考
し、時、を、要、す、入、午後、又、湯、を、の、料、を、校、閲、す、

藤原製

高、利、其、夫、末、功、余、と、印、刻、の、能、味、能、を、初、小、即、ち、能、す
又、余、の、印、簿、并、夫、成、漫、能、を、好、る、能、を、魯、の、一、也
と、事、お、精、を、産、の、生、き、に、能、能、を、持、卷、能、に、入、り
便、通、あ、る、尚、血、出、つ、一、日、以、来、の、便、紙、に、血、溜、り、指
し、多、う、痛、こ、多、量、を、も、二、回、目、の、僅、く、入、り、量、を
混、り、す、の、み、

四日

時、今朝、の、便、を、捨、す、る、と、下、血、を、と、少、し、疾、速、
順、微、也、朝、来、湯、を、の、茶、稿、を、親、読、加、茶、

八日

雨霽、朝未始、船を早す、坂田増平の一人
前時記念館のとき未始、物を始す、和田若
左としま、未始、船外出二三の物を始す
資生堂の洋紙を喫し、川上一の
「と」物を始す、未、坂田若の囀、二
揮毫、大隈侯十年記念、碑、付、杉平、原、四
二間、未、不祥事、も、徳山、歴下、親兵、式、後、還、幸
の途次、爆、後、七、由、海、二、投、す、もの、幸、二、玉
体、恙、る、き、を、得、り、り、と、内、閣、の、為、め、法、舞、観、を

徳山

決し、り、と

九日

晴、和、田、院、の、山、武、夫、も、始、坂、上、未、り、注、射、を、施、す、
箱、船、を、善、す、り、内、閣、員、履、行、二、接、し、居、す、り、
と、決、す、り、午、後、疾、り、中、を、始、り、二、三、の、由、を、獲、り、
へ、り、切、り、り、種、の、魚、菜、を、始、り、居、り、又、病、中
の、一、幸、也、早、く、決、し、り、後、也

十日

昨朝未だ夜と兼す、今朝便を指す、其七五
と見、十時半大隈彦太郎に到り、故彦太郎の妻
より名を伺ひし、其後の事と報告し、四五時
要の件を協議す、是より数名の室の委と
余らも指名す、松平彦四郎の出席を求め
記念碑撰文を託す、午後の懇話と多し
二時ゆき、松井山久の洋行の途に上り、
つき来訪、石川貞流大隈彦太郎^撰書業三付
云々す。

十一日

昨朝未だ夜と兼す、今朝便を指す、其七五
と見、十時半大隈彦太郎に到り、故彦太郎の妻
より名を伺ひし、其後の事と報告し、四五時
要の件を協議す、是より数名の室の委と
余らも指名す、松平彦四郎の出席を求め
記念碑撰文を託す、午後の懇話と多し
二時ゆき、松井山久の洋行の途に上り、
つき来訪、石川貞流大隈彦太郎^撰書業三付
云々す。

十二日

西朝未定際と兼す、所得稅殿稅は付列の森
脇と敬慕合のをも協議す、坂田増重申す、
既に三者中編輯部の永田勝男来る辭出に據
あへき都合ふつき、鶴助勝氣を出し示す、内
二冊先取す、其外、午後申す、伊丹光と借し
以石の武蔵日記映書と見、館生の井上
二館とゆふ。

十三日

東京、早稲田、三浦、編輯部

藤原製

鶴助雅天十四冊貸付、伊丹光借付の合共十六
冊也、阪上弘為外、江射と受く、白木倉を以
て、佐野、佐藤、長と見、又部下書本の即長展
と見、一二の圖書を、鶴助、伊丹、光と借し、
二冊後、長、進、合の、妻、可、初、紙、業、為、寺、史
を、後、人、心、時、を、費、す、。

十四日

明、村、又、美、四、の、妻、の、法、に、據、ち、相、未、定、際、と、兼
す、永、田、勝、男、来、る、三、者、中、編、輯、部、の、永、田、勝、男、来、る、辭、出、に、據、

料九冊貸付す、午後白木倉へ移し、古を倉
り判りたる、長崎邸うらしま外一と贈りて
伺く、大隈屋と支那の古木島垣の古物五十
枚鑑賞

十五日

時、古田集次郎、古柳道徳、市原次吉、古林
を説き、酒を説き、武田印の原形を説き、武田
尾吉、尾次、跡之、桐山均一、来訪、今付ハ一と
来也、坪み、集次郎、島元、古一、つき、来興、を打

此也、若く、十一時出、飯又白木倉を移し、古を倉
り、飯後、杉、改局を移し、ハシ、ゲリ、一巻の工、紙、品
を、見、七、悔、く、外、出、寸、飯、海、彦、次、郎、の、り、る、の、洞、太
印、に、飯、而、於、飯、を、来、す、何、内、通、道、と、一、間、を
投、す、五、百、年、を、来、也、

十六日

時、森脇美樹、来訪、飯、古、倉、今、子、孫、の、打、合、を、為
す、中、得、角、次、郎、の、古、物、物、を、贈、り、分、の、紙、海
行、を、出、心、立、ち、先、を、借、り、十一時、の、汽、車、へ、乗、り、

先熱く行く二十年振也、車中與聊某人の相を
詩集を讀み、午時大船を勅使と喫し、一時熱
酒着抱るるに、枝が、あまの浴衣多く、室を宅
あふまふ、ごつく、不熱の後、自動車と御衣を極
困を治め、梅表満ち、物路坪内を治心、修治を
任り、塔形の志方を、て、市中を歩くと
施金く物く、夜よ、後先、東あく物く、復後
管月坐、序の一粒の麦と、讀す

十七日

日

徳原製

晴、五時目さめて、幕十一、六況を讀み、七時起床、朝
飯後、小舟り、後又つくと、十一時坪内、道、道、
道、道、時、時、時、時、を、交へて、後、日、熱、雨、ホ、ニ、に、列
り、洋、台、を、喫、す、此、ホ、ニ、に、道、に、増、築、し、七、料、地
七、前、し、し、し、し、し、し、公、を、う、り、七、川、男、子、等、并、に、又、
手、息、に、合、す、又、中、鉢、美、的、に、合、す、公、後、出、し
七、伊、豆、山、に、列、り、日、所、お、横、を、日、の、お、り、物、し
る、坪、内、の、層、別、在、と、見、り、橋、上、の、舊、態、を、
全、然、有、り、階、下、り、又、洋、風、を、使、り、又、橋、上、に
し、七、徳、意、の、情、に、地、く、す、此、の、在、り、地、形、

うりて是れ其大灰四ノ押立七ノよと貯る
町内と物金浦用卸前と通し一揚示り控つて
開放せんことを知つた。生田と受け川此年
押下とすつて所の有る物一此と云ふ四千或方坪の土
地と建物一切廿二萬と云ふ。山後後具本一七新代
を得ず。其又田草池草を浚ふ十二時と云
ふ

十九日

昨朝七ノ早を敷きと敷いたが今朝の早の一日

の集り集を交の東京の集をと思ひをこゝ、早起
旅泊五枚著しつゝ生田七ノ早物換辛を
貯る。午八を共しつゝ浦用卸と利り赤石赤
ニ危困を一脱し、自郵車と働あの上多賀のり
海子の松を管し物金浦白石の釣地、之より
海鮮と下物と一一杯と傾け生田とあ時流
一四時迄余り物と、新島田の市赤石古来
つて集り集あり、類三州歌集の三浦村文行
一橋熱海唱歌集三冊と貯る。晩八を共し
しと多時流す。

二十四

時分朝大寒を特ニ寒氣を感テ、朝亦後首
衣を付めて梅子を再訪、未の客を拜し、増内
造七郎の、河井東俊の合さる生田七中を、花
酒を交へて、右後當殿と對面、四時二十五
分、別汽車を走らば、右車多々、此のこ
と、主、但し、四〇分、再十時を以て、為物一
切を、此會に、留め、二時、半、頃迄、不在、中、の
未、同、十、換、す、増、内、東、俊、の、印、刷、了
業、報、告、所、又、是、日、の、中、又、舊、春、秋、社、の、口

藤原

蘇山、潤、大、中、一、森、村、心、等、も、も、未、同、不在
中、大、次、の、男、來、訪、と、家、人、共、く、雅、波、理、一、中、に
小、梅、見、飛、腸、を、受、け、て、ま、り、の、是、日、西、菜、も、も
自、家、の、地、立、業、を、主、觀、で、な、す、所、以、て、數、年、來、の
七、年、の、一、段、回、増、え、中、の、未、出、出、版、部、も、是、日、刊
利、未、

二十一日

頃、朝、來、不、生、中、の、家、務、を、此、す、又、旋、風、を、尊
或、武、田、房、主、出、版、了、稿、の、つ、ま、り、の、次、の、印、刷
分、此、十、二、日、以、來、の、取、扱、を、最、終、の、一、方、解、決、を、な、す

の病と云じ印洗の如く是署奏成後居止印
交付十一時迄を待たせ丸長に江利書を見
申事と聞取し七時頃、船の如く船を立ち同
川出する体令取付けの本日の事聞取合に解散
せらる。また代四杯提三略血の報到の

二十二日

時、今日熱飯、行くことを思ひ立ち十一時の汽
車を是る、着後生田七丁、取取、降し城
内へ送す、あ時取し七丁、取取、降し城

て元入の検閲を要する、海軍に或次郎の春
福州連、元入の検閲、寝後能法を讀む、
猶望、二時、材、元入、能法を讀む。

二十三日

時、二三書畫、枕押毫、八時、雨降り出、文
藝春秋の囀と云し、他書、一、向を告、一、郵
送、生田七丁、二、三の書畫、枕押毫上
空、點、取、取、取、三、同、付、取、取、又、書、畫
帳、毫、紙、亦、を、押、毫、午、後、生、田、守、三、山、取、取

横谷の妻渡田四郎を伴ひ来る。道邊の沙路爲
別荘とも云ふ家。福しむ人々。全欲所一時の物
ニ身も道邊の荘を伴はばさへもさきも其地
保儀百石。人付も近く。所も。種々押さへ
を頼みん。即座に。三時。半。生。の。と。此。
好。内。も。酒。の。觸。ふ。り。孝。の。家。定。料。理。
心。よ。く。飯。も。七。時。初。飯。陳。室。喧。騒。と。眠
り。難。く。酒。を。呼。び。寝。さ。う。う。傾。け。て。漸。か。く。寝
ぬ。

二十四。

雨ぬきう天氣郎うきう、方々次支杉山勢
大(○)岡山好支信郡大井(○)枝(○)と郵書も宛
末(○)好(○)と兼(○)して半(○)を費(○)す、午後(○)物(○)束(○)の
途(○)に(○)乳(○)く(○)熱(○)海(○)と(○)清(○)を(○)四(○)考(○)敷(○)七(○)退(○)産(○)と(○)感(○)七
が(○)過(○)業(○)三(○)十(○)数(○)枚(○)者(○)く(○)こと(○)と(○)清(○)比(○)の(○)道(○)邊(○)此
地(○)も(○)故(○)也(○)、四(○)時(○)半(○)着(○)東(○)洋(○)り(○)途(○)上(○)の(○)松
井(○)正(○)夫(○)上(○)海(○)界(○)の(○)と(○)う(○)き(○)二(○)番(○)列(○)の(○)原(○)久(○)一(○)中
も(○)と(○)近(○)若(○)あ(○)ト(○)ル(○)ス(○)ト(○)イ(○)係(○)を(○)定(○)つ(○)七(○)集(○)る(○)、二(○)三(○)枚
信(○)三(○)枚(○)す、不(○)立(○)中(○)初(○)年(○)康(○)回(○)未(○)証

時、今公鐸次中、御信、兼、方、備、奉、二、の、き、い、斗
所、中、思、由、中、善、光、と、い、河、也、所、の、道、を、成
治、中、と、い、昔、相、利、来、干、一、時、教、来、又、の、世、を
治、中、と、い、二、の、因、香、を、贈、心、松、尾、と、い、不、品、妙、黒
六、歌、仙、を、贈、心、相、一、と、い、森、師、美、相、来、訪、
貝、原、近、折、と、い、未、也

廿八日

時、朝、東、海、邊、の、原、野、を、檢、し、二、十、數、牧、強、了
堀、口、と、蘇、山、天、平、臣、の、世、月、書、文、故、河、林、を、流、し

藤原製

来、り、伊、孫、伊、助、来、極、高、教、治、主、身、書、武
田、生、主、石、門、元、鏡、時、り、沙、翁、合、集、の、仲、の、つ
き、堀、内、と、熱、海、と、河、河、の、仕、末、を、報、告、す、大
隈、先、侯、敬、恭、今、分、別、以、人、九、百、名、二、連、す、午、後
寺、尾、元、彦、伊、孫、伊、吉、の、方、の、揮、毫、石、塚、三
郎、初、乃、い、と、送、る、の、と、術、を、載、し、来、り、教
来、神、田、と、玉、成、殿、を、贈、心、村、口、書、居、と、い、四
葉、次、中、と、い、一、と、い、一、と、い、高、教、治、主、と、い、無、光
果、鑑、法、廿、四、箇、利、来、二、河、田、吉、飯、と、い、四
飯、向、向、の、書、類、と、送、り、来、り

廿九日

晴、信遊為、潤し一玉を冊共、原平二書あり
其、押書二枚、寺尾元彦に贈る、石谷三
郎、寺尾遊為の件につき云ふ、阪口、秋友、春成
今、つき来、法、神、瀬、惘、も、早、早、同、方、飯、記、の、最
款、系、好、を、受、了、来、之、和、回、萬、々、輪、送、す、早、大
元、科、教、後、未、村、保、羅、西、村、徳、方、の、子、の、つき、来
訪、跡、乙、市、の、法、三、の、子、の、物、鏡、木、実、彦、母、の、計
利、の、栗、林、羊、一、の、来、之、法、事、の、葉、子、到、未
當、友、説、有、し、と、未、去、午、後、光、を、付、り、と

棟原製

新書二冊七冊、終二城の、日、田、山、と、諸
一、て、切、り、了、善、本、影、写、二、部、配、本

三十日

晴、大津、渡、一、の、日、外、と、揚、子、大、隈、元、侯、教、養、本、碑、建
設、受、員、見、積、書、到、来、出、版、部、持、部、連、と、上、海、の、
の、高、田、の、新、居、と、坊、の、の、沙、翁、全、集、廣、原、侯、の、
子、と、坊、の、の、好、内、の、の、の、の、未、同、集、共、の、の、
預、金、引、出、す、程、村、宗、八、外、出、了、来、坊、の、山、田、坊、
心、を、坊、及、一、九、沙、翁、全、集、廣、原、侯、の、の、の、の、坊、の、

熱海の坊内を訪んことを求む、午後寺尾元
彦和田萬吉來訪、高橋政吉と浪義美
十本を贈り來り、山田和四に杜毫一枚を贈
り、文り本を渡りて二三日の圖書と贈り、五七の
族呪し餅を贈り來り、此月年四介と電
詠あり来月二日女邸に報さる

三十七日

日

頃、朝来酒色のまゝ物を板倒し了り、鈴木寅彦丹
投前旦の香を送り、鈴木寅彦丹死去

棟原製

付香を送り、湯をさしと銀生に散策、寅彦
丹に似す、二時寺山崎場に入り、鈴木寅彦丹
の告め式に臨み、途中山中にて定めの西村徳太
郎の為の月を赤し二三者も物終り傳り受
け、八つ、中も中平の卦利、伝承記あり

〇二月

一日

町、宇高、宮平、元玄、このつき、吊状を為す、山
日活、旭、延、海、に、於、て、海、ゆ、と、交、渉、の、始、末、を、報、す、
武、田、石、中、と、根、き、つ、ま、の、報、先、の、つ、き、協、議、す、森
脇、敏、恭、奉、令、の、つ、き、未、決、三、浦、梅、園、四、宮、殿
煤、坂、き、と、志、屋、屋、を、命、し、給、す、もの、出、来、所、得
税、電、流、料、四、百、六、十、四、圓、納、付、旅、館、を
筆、す、高、村、三、夫、ら、と、未、書、坂、田、誠、身、坊
巻、物、持、卷、押、是、を、も、と、あ、ら、午、後、交、り

藤原製

世をゆめを二三の香をほてり

二日

町、坂、田、増、冬、の、囀、に、應、じ、前、の、少、の、建、碑、文、書、等
の、首、端、に、題、字、と、者、し、井、七、と、題、題、市、山、に、居、る
り、余、の、逸、事、を、奉、成、業、終、り、と、題、載、今、を
収、め、り、市、田、漢、本、卷、三、と、題、り、未、だ、高、村、真
夫、の、印、話、を、収、め、り、旅、話、を、寄、り、す、る、
谷、部、一、大、介、と、し、未、だ、考、港、島、松、井、三、夫、の、給、
え、り、と、列、す、先、を、後、を、教、業、松、屋、佛、圓、堂

終日大暑リ天氣甚一ニ時出遊之の事と為
之を本城録冊一冊小出所小毛紙一紙と得也
かくも亦能くと筆下す

五日

明、大石池に度本義孝年一平中登美夫文し
身衣、海色への原箱より板渡り、午後赤山
宮跡へ行き大津瀧一舟の先お式に臨む
由途白木倉より廻り物を焼くを伺ふ、内子病
お返の来珍、神樂江巻石とし未尚

藤原製

六日

明、木内中より今津八一舟分りし未尚、遊を合の而
原より、本城の人如く久々雁山湯の屏風賣印
らり、つぎ今津より、鐘堂を求む、遊録を筆
す、海色をとり来り、直り、廻り、午後
光と從ひし、本武在飯の映電を乞ふ、大
隈廣敬喜より、本城人九方四十五名に達し納付
金五千四百圓に達し、報光を乞ふ、日頃
印刷令地を、カ、ア、エ、坊、稿、設計、お、私
と送付し未尚、

七日

日

時、勝本長代行末功而打徳方より山陽の邊
 畧三十枚詰、賣却、つとむるの法身、平山を
 一紙、存す、散果、宛せの骨、並、赤、加納、流、丸、心
 小品、能、面、之、又、外、之、一、紙、辨、之、何、一、今、田、富
 康、心、品、代、五、四、抽、出、之、能、保、之、筆、下、し、時
 を、抄、す、丹、兵、宗、主、と、未、志、坂、田、誠、身、好、輝
 其、也、も、交、行、又、目、世、界、郵、便、印、紙、法、日、保、業、に、代、價
 付、洋、本、一、冊、前、島、紀、念、館、に、定、の、附、の、為、之、交、行、す
 左、京、都、祇、田、江、卷、石、二、一、也、を、投、す、

藤原製

八日

時、丹、兵、宗、平、と、未、間、武、田、石、堂、江、富、全、集、の、傳、に
 つ、き、熱、海、に、好、し、并、功、の、法、果、を、報、法、の、為、に、未、志、加
 長、大、唯、に、投、向、法、也、と、存、福、利、未、志、に、投、向、
 法、果、を、兼、す、午、後、散、果、新、山、書、石、塚、三、印
 と、未、志、方、山、形、好、楠、三、何、未、早、田、考、領、三、
 洋、島、大、り、と、領、地、の、早、家、館、を、修、り、す、法、也
 利、の、開、し、兼、し、て、小、品、を、懸、記、し、細、小、品、万、五、許
 法、列、棚、と、云、去、り、趣、に、納、め、て、別、置、す、紛、亂、を、實
 ん、也、中、村、吉、花、并、に、江、交、通、行、此、大、西、林、也、印

らしき書

九日

時、十時、日清印刷舎此の重役へ會し臨む、グラビ
ヤ大森工場を移務の激激しく決す、出版部の要
件のつき武田石堂今秋、宿以來、文行巻を
功のそ仲巻、西条丹美より申來り、縁語一併
このき樋口清策、この間を投す、山田信成、
訪、内宿を在おのすを執り、深更中あり寸汗
つし

徳原製

十日

雪霽り、今朝の夕、依り、野井上前花社神の
遷居、浪浪今傳へ、射殺さる即死の報を傳
へ、育英書院も、保科孝一海新刊昭和四年
讀本十冊を贈り來り、此内余の文一篇採録あり
り、午後三時、華族今傳へ、格と文の協会の例舎を
開き、アマゾニアの衛生調査のつき、醫務協士高木
逸磨二時、間、深り詳説、高田中峰、ら、生
雲丹木瓜を贈り來り、

十一日

化元節

頃朝未終候を奉す。山内侍此所内治の復命
の爲り申す。道邊を以て申す。已登久流甘大西林
五中。此等龍二尊未の午後散。果不丸ビル。此
世ありしを物と仰ぐ。凍天雨を候し。寒氣加ハ
る。此書後終候を奉りし夜に入。捷造一危馬
の報利。浦和と雪流と通し。此州由來を也
とあ。

十二日

徳原製

頃今朝六時捷造死去。改定し。此所内
坂上より注射を施す。葬儀料三十日持冬内子
を所長代。四方、老、江、河、の終恭平。身振
杉尾の夏衣。未、小、林、八、右、左、に、紙、紙、を、並、ぶ、以、て、
印刷の竹内。未、大、中、未、接、候、し、物、を、終、り、
り、注、意、の、原、行、而、致、す、故、閑、了、午、後、二、時、會、士
分、候、に、到、り、回、考、終、候、會、の、現、る、會、に、臨、み、候、事、
候、に、申、す、に、注、り、。晚、會、後、七、引、り、し、き、合、候、に、
由、是、休、ま、り、し、。細、心、建、設、事、務、を、と、り、一、休、
并、に、銀、紙、の、金、パン、を、賜、り、奉、る、。

十三日

西、赤松川を渡り、他紙に書出さし、つぎ来極谷所へ、御不在
利と書ふ。龜山素三未の日柳、燕不遣印二顆、頼吉
所持る一枚を頼公へ、午後一時書法を、今夕人
と共に宮内省同方寮に到り、末元の御書と度
観す。二時百餘を一回、安田善次ら書に、頼公
晩食の御心を受け、書法法を文へて、一時御書、
書法出の、今夕十月分の書影法代拂、尚ほ日
本圖書協会の満蒙出征軍に、圖書と送附
し、任文の内、十四日宮内省同方寮に、御書と托す。

藤原

十四日

日

小雨、今朝十時提参の儀式と書ふ。朝来、御不在
と書ふ。一時と移す。十時出浴あり、今夕、孝子の
御病を托す。御世のデハートの一、二物と頼公へ、
：非、美、と、三、の、り、酒、飯、と、て、御、心、を、書、下、し、
御病、又、御、心、に、到、り、あ、ら、ま、き、ら、る、降、る。

十五日

雨、十時、今、出版部、の、幹、部、へ、御、心、を、書、下、す、と、書、
す、午後、文、の、書、を、御、心、に、二、三、の、宮、本、を、書、下、す。

つぎ坂田増五郎とて来出、旅宿を兼りて
時を移す、宿に居りて多分到来、龜山幸三
長谷川田の巨幅を持来、人の爲に夜し押置
四五成り、五十以旗置とて味増一柄到来

十六日

雨やむ、朝来酒造の原形を讀み二三百頁に及
ぶ、先を付して、此方のモノに合せて酒飲し物
書後三四枚押置、此の款金も五十由引
出す、五竹の舞、何れに列り、時分二時あり、分多くと

徳原製本

差支、酒造とて、余のみに出席、催張亂解、此の
家、此の、日本國の、被攝合とて来也

十七日

時、今、余の生誕記念のうら、春城、合を催す、此
日、余の、生誕記念の、は、見、延、び、す、十、時、内、子、を
伴、白、布、を、棒、原、に、物、を、懸、ひ、給、せ、り、此、の、時、に、
酒、飲、し、物、を、山、田、の、巨、幅、を、持、来、出、旅、宿、を、兼、り、て、
時、分、由、り、沙、為、得、と、認、証、の、記、を、と、揚、げ、し、る、
件、の、つ、き、来、出、伊、豆、山、打、撲、合、の、為、書、し、る、

市銀の取返し山田に托す、萩原英一と下相を
呼ぶ。

十八日

市朝未だ終ぬを責す、萩原英一、沙包を投ず、
武田宅を為沙、石堂元為七、赤井のせし、パン
於流に揚載の沙包、得て構二、月七、柳屋
一七、去、午後亦終ぬを責す、一時を致す。

十九日

市朝未だ終ぬを責す、余の隨筆、たむこを責す

萩原製

文藝春秋三月號刊載、午後四時考査志田原
不事田武田界二人と五十嵐力七、招き、教科書附
属者、岩野達進の法を柳屋、許す、家、四、
三、

二十日

市日本用者、柳屋、未出、白木、存、二、種
の目録を定む、七、八、九、十、十一、十二、十三、
木武、その、あり、投票、外、委員、二人を、推し、
市、の、井、美、と、飲、み、二、時、三、時、中、書、流、を、
列、東、二、つ、き、五、五、五、五、

廿一日

日

昨朝未幾報を兼あり、小林三三氏に
 寺崎元重子中を伴わし來候。物を船より十一
 時出淵白木舟陣列り、西家具を乞。船中、飯
 一七候へり。山田酒女より「ウダ」を贈り來り、
 送るべきの儀果續り報あり。一表一裏あり、船中
 を兼し時を復す。此間和氣より大炊より來り
 候旨と共り、一押毫三紙贈り、元重家より
 此に古書あり、到り部樂座へ行き、十時出書

榛原製

二十二日

昨、十時出候郡より、河井惣後を以て沙留全集
 洲殿より、松平、幹部合に、時々河原全集康
 傾放の計畫、このき協儀す、午後船中、この敷
 果す、由も船中を兼す。

二十三日

昨、海軍式次より、舟の修繕上の打合を長
 けり、午後、船中を兼す。海軍式次、月
 額百圓交付、午後本邸珠瓊宮に於て天

聖地慈回二冊を獲てゆつ。又施紙を筆
す。海色の原紙を讀む。

二十四日

昨秋の如くも来間、阪上、坂下、市、注村
を施す。辰井一月、午後、春、後、次、休、爲、三、代、次
も父の如くも来間、自祝。品、列、来、神、田、の、志、衣
を、部、の、一、二、の、回、考、を、得、て、物、々、婢、の、母、死、云、云、の、
を、知、仰、也、云、云、。

藤原製

二十五日

雪、降、初、来、能、紙、を、筆、す、西、田、尾、左、出、取
部、の、出、仲、を、及、心、一、切、紙、常、山、下、三、三、三、浦、橋
つ、の、函、冊、を、持、来、江、島、条、所、来、紙、雪、雲、々
し、と、死、ひ、心、を、筆、す、不、地、々、お、ひ、心、酒、を、飲
み、後、及、左、坂、の、心、を、筆、す、後、心、又、紙、紙、を、筆、
す、雪、ま、ま、く、心、を、筆、す、心、を、筆、す、心、を、筆、す、
一、紙、一、紙、心、入、る、庄、川、電、力、今、紙、心、流、木、の、紙、
心、就、七、の、井、の、吉、判、心、。

二十六日

昨夜の雪六寸許積ち、夜半を筆一時を
殺す、森脇吳村前著今夕の予報三つき未流
富食と結志今夕三つき未流、午後散歩
し出うけ曉巻の念用巻品をゆえ物く、亦
巻紙を筆す、三時十五分可多の激震あり

二十七日

時、中央公論社長鴻中雄也、出版部の沙翁全
集と共回して、庶價版を出さんと欲し、未

榎原製

後、勝本喜代松、西村徳大、石巻頼山陽
遺墨三十四點を大印の件三つき未流、旋
録と筆す、酒造式次郎の三つき未流、毎日
誌五冊、東洋雜著一冊、近虎一冊、三、四巻、院
を著す、午後三時七階の臨列美之園社の
珍書をえり、向未東坡のヤ品文を讀且抄す

二十八日

日

時、此分、あひす九の奇を散策すことお出、い
柄、其化と出、延、伸入、ま、ま、了、自、動、車、運、轉

あり親氣流る、病生るるを方々粒柳に着き
 柳街の遙えしきまらん、流るるに到り倦ら
 る者母一と得再びりを指し疾く云ふ術
 に便し且つ自らし心く、橋を直克とてし
 市山方の女子新圓女之と余の今夕の一宿
 を榊原とんことを雪のよの直に涙す、
 合お存の杖杖伐採一車焚押に撤ひ来る、
 日本人(諸法)とて榊原三勇士留試非に
 字のおと雪のまゝ、改田誠と云ふ松真毛の顔面
 を其の公

榊原表

二十九日

時、武田庵ま出取部り付、のまの流、龜山寺に
 又三浦村の画再代二十七日泊り、此所を兼
 ず、生田七中宿、赤流をまゝ未出、出取部社
 次、市山幸光、田村和三、中退職、のまの流、
 為市田村の余押、其毛の香指を指す、このま
 余其の運に、是の書、細の書、春主人来り
 飯、あはれ、飯、一帖、おま、賑入、大政の大、
 此出、京、の、流、流、所、不、二、家、に、振、る、ま、お、其、龍、三
 才、の、お、代、二十日、榊、原、今、時、八、一、ま、ま、出

午後東京日々新聞の報が、我が重要
提議の難いことを動かし、日支紛争俄然好転、
支那軍廿キ口撤退を條件に平和的解決
策成ると、事態を喜ぶべし、自娛老翁、二冊
筆紙し畢る。

〇 三月

一日

藤原表

時、相末旋返と筆す、山田忠信、来りて復
先急本二冊配本、法不、来代、松本、法、日本國
有、録、海、今、と、来、去、生、田、七、郎、に、投、簡、に、
七、日、生、田、来、訪、半、信、を、譽、り、如、の、修、り、茶、泥、の
滴、香、負、録、今、配、本、其、等、を、終、り、馬、場、恒、吉、の
大隈、傳、を、讀、ん、て、多、く、時、を、務、す、今、夜、大、改、の
大、方、忠、信、に、松、之、入、富、田、の、田、中、(、龍、崎、)、才、と、渡、
所、不、二、家、に、飲、む、。

二日

晴、網糸能取を兼ふ。東洋印刷の千塚猛男
の印刷、日本美術協会今も押書と需め
未だ印刷舎就しるあり金時借りと有り
午後侍人び出遊、先宗家の婦人令と臨去、妻代
四本より提造の遺作彫刻二三を齎し、未だ
吉山幸吉、田村和三、揮毫を具く、海
礼と来訪、分派ハ一、身間

三日

晴、網糸能取を兼ふ。及上山花、身間

藤原製

巨射を施す。町田忠次の子大次、子有死
龜山幸三、原市、進の自筆、意見書、持
冬留め、互く、令はハ一、養小生、田七、印、間
才、町田忠次、平状、士、寄、午後、散策、来、新
宿、毛、紙、咄、：、町、い、り、物、を、贈、あ、乙、物、い、り、間、に
粟、小、四、五、枚、揮、毫、人、の、為、め、り、す、也

四日

晴、上海、市、仲、漸、やく、停、發、前、田、晴、山、子、息、會、え
航空、吉、城、の、為、物、職、こ、つ、き、早、状、を、あ、り、す、於、此

葦、す、理、製、今、年、八、一、の、時、に、中、の、大、に、と、り、
去、散、策、に、す、に、飲、し、以、来、自、抄、本、と、整、理、す、
生、田、七、中、と、し、来、出、

音

時、武、田、尾、丈、の、ゆ、に、中、元、花、の、病、を、報、す、
今、年、八、一、に、散、策、の、用、に、来、し、七、散、策、の、
庭、の、涼、月、の、飲、に、三、井、北、中、回、場、の、
の、時、に、接、す、

徳原製

六日

地之日曜

時、龜、山、素、三、と、程、君、房、製、大、田、里、乾、隆、御、
製、研、形、墨、各、三、十、日、二、筋、を、贈、り、平、河、金、
三、中、の、功、抄、毫、を、送、り、乃、ち、二、三、紙、を、製、
製、品、を、考、へ、す、午、後、散、策、文、の、中、を、送、り、
ゆ、り、里、三、筋、の、策、と、し、来、出、

七日

時、朝、東、經、史、を、葦、す、今、年、八、一、の、時、に、中、の、
芳、次、中、大、隈、元、辰、全、集、編、の、事、に、つ、き、来、出、

本林陽美村敬慕会のつき来法小柳善四の未
元人法男の新職につとまり、黄印の附するべき不
用書書と換出して時を移す、と視せしむ
に概り睦合に臨む、前島男に又ある品を贈
り
八日
此法意の所行を致後、龜山平三に
買物代少十圓送る、山平大隈令致、敬慕
会実行委員会といはるる金と法政の報

榎原製

告をき、買りの就りの手順を協議する、金
田出版部から借入、洋行金(上松井正久と
二通りの紛らうき別達)に採を兼す。

九日

此凡、丹多原平出系を報す、龜山平三、雅暢を
買物代のため、交付、十時印刷会代の致文を、臨む
山の法心身法、日本国古紙協会と、議案列
未所得税徴票列、和田純に投函、丹
吳原平、この幼少の法、後、信のを致す

志の原と欲々久刻列の

十日

成、改口就夫春城令のき来夜、横尾之行重
主人来の不用旅飯廿五日去印、小柳弘
り来の向、新印飯茶平の物も贈り来り、勝木
去代松、道田、久前、高須、茶、村、来、治、午後敷
果不、丘、中、金、子、英、二、打、吃、請、准、の、出、合、を、未
功、大、橋、進、一、と、未、去、治、文、飯、後、真、成、う、以、念
品、を、寄、世、丁、外、の、領、茶、平、竹、篠、桑、丈、徳、六、也、者

藤原製

判を裁す、平山堂、来、治、里、司、傳、心、と、差、を
を、寄、り、す、和、田、代、と、し、未、去、也、来、雨、海、色、を、来
移、州、来、今、日、陸、軍、地、合、日、に、付、テ、レ、オ、を、大、改、の、演、習
と、聘、す、十一日

雨、海、色、を、来、治、の、原、を、校、覓、一、畢、の、後、来、治、
代、松、を、招、致、し、西、打、不、着、山、陽、堂、無、の、新、也
時、款、平、山、堂、云、々、と、す、未、去、治、の、十、時、上、の、回
者、傳、心、と、し、未、去、治、の、理、子、合、の、
列、す、午後、汪、湖、を、合、せ、り、と、云、久、席、中、来、美、從
来、部、の、方、林、中、産、公、を、見、り、一、七、得、る、未、去、

十四日

晴、海本を古代格と称し、方丈に投筒二三能代に委
ふ以上は、舟車の日例の注射を考へ、小浜戸の川村
龜大ら、其子松衛を付、乞未接、武田尾毛、森
脇美村、お籠り、森脇と敬奉、乞の事、終と
協議す、干後救果、文行書と、湯のこ一二の箇
古を、編ひ、二十由挿入、日本橋、お竹、乞と教
果と、ゆき。

十五日

藤原製

晴、平石、恒久、来流、楠、瀬、恂、一、乞と、是、す、宇
尾、田、海、子、流、市、長、庫、今、一、方、何、の、新、校、友
平、石、恒、久、乞、心、来、り、い、何、印、創、會、此、入
社、ら、り、乞、新、乞、考、り、干、後、出、遊、來、幸、乞、表
并、乞、菓、の、程、子、乞、婚、乞、ゆ、き、乞、何、書、後、海
乞、の、著、文、書、乞、乞、乞、乞、大、隈、炭、の、序、文
乞、考、き、初、の、完、結、乞、乞、乞、乞、乞、乞、乞、乞、乞、乞、

以下別冊

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

徳原製

以下全て

白紙

